

つるぎ町立半田小学校

1 学校の概要

- ① 児童数 110名
- ② 校訓・めざす児童像
「自主」・「創造」・「協同」
 - ・やりぬく子
 - ・考える子
 - ・助け合う子

③ 環境目標・テーマ

『地球に優しい学校づくり

～半小みんなの合い言葉「もったいない」～』

○「節電」・「ゴミの分別」・「リサイクル」に主体的に取り組む児童の育成。

○地域のリサイクル活動の拠点となる学校づくり。

○児童が主体となった学校や地域の美化活動の推進。



2 行動方針

- ① リサイクル活動に努め、資源を有効に活用します。
- ② 節電・節水に努めます。
- ③ ゴミの分別を行い資源ゴミの有効利用に努めます。
- ④ 学校や地域を美しくします。

3 行動



① 30年以上続く「リサイクル活動」。瓶・空き缶・古紙を地域中から回収します



② 4年生と5年生で、出前授業の環境学習を実施しました



③ ゴミゼロ運動。隣接幼稚園の園児と合同で実施しています



④ プール清掃は、小中合同で行っています



⑤ 栽培委員会が中心となつての花作り。卒業生や地域へ贈る花も育てます



⑥ 自分たちで育てた花を地域の公共施設に飾っていただいています



⑦「なかよし班（異年齢集団）」での毎月1回舎外清掃を実施しています



⑧「リサイクルバザー」で不要になった制服や体操服を持ち寄って販売しています



⑨「資源ゴミ置き場」。紙類・一升瓶・空き缶に分けて回収場所を設定しています



⑩ランチペーパーや牛乳パックも毎日回収してリサイクルに回しています



⑪「環境掲示板」

環境学習に関する掲示物は、児童玄関付近に集中して掲示しています

4 具体的効果

- ◆ 学校の資源ゴミ置き場を地域に開放したことにより、今まで以上に地域の方の協力を得られるようになった。特に「アルミ缶」と「古紙」の集まりには驚いている。
- ◆ 牛乳パックやランチペーパーのリサイクルも児童の生活に定着しており、リサイクルに対する意識の向上が感じられるようになった。
- ◆ 中学生との合同プール清掃に加え、幼稚園と合同での環境学習（ゴミゼロ運動）も定着してきた。
- ◆ 水と電気の使用量をグラフ化することで現状がよくわかり、節電や節水への意欲が高まった。また、各教室にも掲示し発達段階に応じた指導を学級担任に依頼することにより、全校上げた意識啓発を行うことができた。
- ◆ 古紙回収も地域の方々に周知されてきており、校区内の事業所からも大量の古紙（段ボール）を持ち込んでいただけるようになってきた。

5 改善点

- ◆ 今夏、各教室にエアコンが設置されたので、今後の電気使用量に対する児童の節電意識の一層の向上に努めたい。
- ◆ 児童数の減少、リサイクルの多様化等の理由から、「エコキャップ」と「プルタブ」の回収・活用が低調になっている。学校や児童の実態を見つめ直し、活動の内容と方法の見直しの必要性を感じている。
- ◆ 児童は「無人教室の消灯」や「歯磨き時の節水」など、分かりやすい場面では「節電・節水」を心がけることができている。今後、見えにくい場面への意識を向けることができるよう、学習や啓発活動を推進していきたい。
- ◆ 幼稚園・小学校・中学校の3校種が同じ敷地内に存在しているという本校の特色を生かし、一層の合同（協同）活動を立案・推進していきたい。
- ◆ 一層、全児童・全保護者・全地域をあげての活動となるよう、啓発活動に力を入れていきたい。